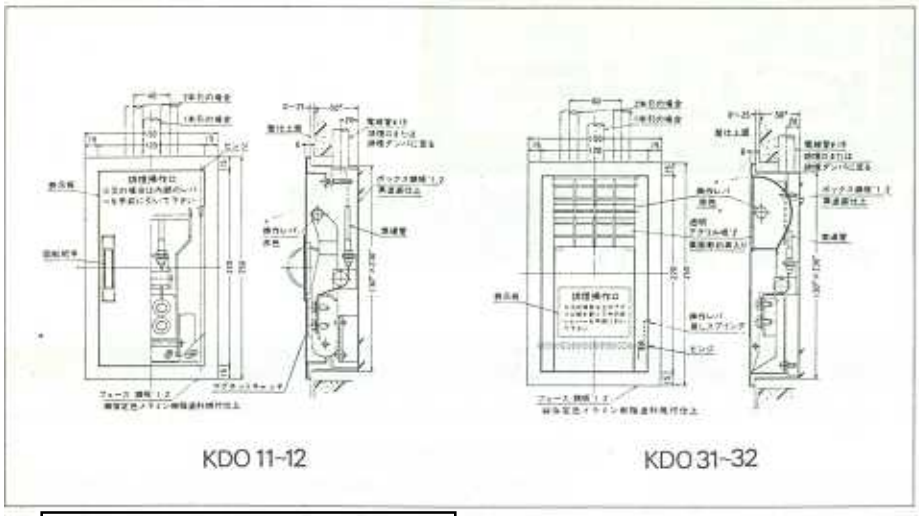
開放装置　旧タイプ一覧



KDO 11~12　　KDO 31~32

ご照会に際して次の事項をお知らせ下さい

① 形式記号
② 表面仕上の仕様
③ ご使用個数

特許、実用新案、意匠登録申請中

ｺｰﾄﾞ2-13-1201

注　① どの形式もフェースに操作方法が明確に記載されています。
② その他詳細はクリフ技術資料集、図面集をご参照下さい。

●諸仕様

形式記号	形状	寸法 mm		操作方法		接続索導管本数	作動動力
		フェース巾×高さ	ボックス深さ	火災時	検査時		
KDO 11	扉形	150×250	50	フェースの回転把手を持って扉を開き、内部の操作レバーを手前に引きます。	左記の方法で操作します。	1	――
KDO 12	扉形	150×250	50			2	――
KDO 21	アクリル板形	150×250	50	フェースのアクリル板を手で割って、内部の操作レバーを手前に引きます。	アクリル板を上の方向に強く滑らせると外せます。その後は左記の方法で操作します。	1	――
KDO 22	アクリル板形	150×250	50			2	――
KDO 31	表面把手形	150×250	50	フェースの透明アクリル板を手で割って、内部の赤色の把手を手前に引きます。	フェースの下端を強く押してフェースを少し手前に浮かせ、アクリル板を上方に滑らして外し、左記の方法で操作します。	1	――
KDO 32	表面把手形	150×250	50			2	――
KDO 51	天井取付形	40φ	200	天井から下らせた、ワイヤーを下に引きます。	左記の方法で操作します。	1	――
KDO 11WR	扉形	160×260	55	フェースの回転把手を持って扉を開き、内部の押ボタンを押します。	作動は左記の方法で行います。復帰は附属の復帰ハンドルをワイヤー捲き上げ装置に挿入し、ハンドルを時計方向に回転させます。	1	――
KDO 11WR-S	扉形	160×260	55			1	電源 DC24V
KDO 11P	扉形	150×250	50	KDO 11と同様です。	作動は左記の方法で行います。復帰は、リセットつまみを押し下げながら操作レバーを戻します。	―	空気圧 4~7kg・f/cm²
KDO 11P-B	扉形	150×250	50	フェースの回転把手を持って扉を開き、内部の押しボタンを押します。	作動は左記の方法で行います。復帰は押しボタンを右に回しながら手前に引きます。	―	空気圧 4~7kg・f/cm²
KDO 61P-B	アクリル板付扉形	150×250	50	フェースのアクリル板を手で割って内部の押しボタンを押します。	KDO 11P-Bと同様です。	―	空気圧 4~7kg・f/cm²

その他の形式記号　○表示ランプ付き……形式記号末尾に－Lを付加。　例　KDO 11－L
○露出形……形式記号末尾に D を付加。　例　KDO 11D